



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 183号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報 2017年 11月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

平成 29 年度市民大学講座第 3 回

「和光の自然と歴史～和光市自然環境マップとめぐる～」10月11日開催されました

平成 29 年度市民大学講座・講座名「地元・古民家再発見～第 2 の活動・地域を知り・体験しよう～」全 5 回が特別講座として生涯学習課で企画されました。5 回のうちの第 3 回の目的は、地元を改めて見直したい市民のために「和光」について学ぶ機会が提供され、当会が講師として自然環境マップを活用し白子地区を案内しました。

第 3 回の表題 「和光の自然と歴史～和光市自然環境マップとめぐる～」

日時 2017 年 10 月 11 日 (水) 13:30～15:30

プログラム：講義 (中央公民館) 13:30～14:00：高橋勝緒理事が、和光の自然特に湧水について「和光市湧水環境調査」の紹介から、自然環境マップについて説明しました。

コース：公民館出発 (14:00) → ニホニウム通り → 浅久保の浅間神社・馬頭観音 → 代官屋敷 → オリンピック道路歩道橋 → 大坂通り → 大坂ふれあいの森 → 富沢湧水 → 熊野神社 → 白子宿通り → 白子橋 (湧き水が川へ流入・解散)

この企画は、環境課の協力で実現し、当日は生涯学習課、環境課の職員も同行され、市民大学講座の受講生 12 名の方々が参加されました。湧き水の会 4 名で白子湧水群の自然環境と歴史を、現地を実際に見学しながら紹介しました。

当会では、今までに多方面の方々に、富沢湧水と大坂ふれあいの森を案内してきました。この経験を活かした企画です。和光の湧水がどこから湧き出て、どこへ流れていくのかという観点から、白子川へ流入する様子まで見学するコースとしました。和光の自然に初めて触れるかたもおられ、短時間にめぐり、地層や地質、自然環境など地域を知ってもらえたかどうか心配です。このような企画が次年度も継続され白子宿の湧水を知ってもらい守られるといいと思います。当日の様子を紹介します。



和光の自然の特徴を知る



浅久保通りで馬頭観音紹介



大坂ふれあいの森の落葉樹林と春植物について



富沢湧水湧き水の仕組みがわかる地層と熊野神社の富士塚見学



白子橋で流れ込む湧水を観察し和光の特徴を学びました

NPO 法人和光・緑と湧き水の会 11月、12月の予定表

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森	樹林公園
11月	12日 市民祭り 19日 白子コミセン祭	18日 午前：保全 午後：下新倉児童館 「ドングリや竹工作」	10月30日 モニ 1000 15日 大坂ふれあいの森と 富澤湧水保全	樹林公園検 討会参加
12月		16日 定期保全	9日 富沢湧水保全 20日 大坂ふれあいの森保全	

★ 「環境と共生」のまちづくりセミナー（ふっさ環境市民会議主催）で環境マップ紹介

10月28日（土） 午前10時から福生市「もくせい会館」でセミナーが開催されました。和光市環境課と当会と協働で26年度の湧水環境調査から28年度の自然環境マップについて、「身近な自然を知り、守り、活かす活動をもとにした自然環境マップづくり」、と題して高橋勝緒さんが講演しました。ふっさ環境市民会議は、福生市環境課が事務局を行っていて、福生市の環境マップを作成しようと計画し、当会のマップ完成の情報を得て、このセミナーの講演を当会が依頼を受け、実現したものです。

福生市は、青梅を要とする多摩川で作られた扇状地の一角で、青梅に近い武蔵野台地に位置し、和光市は、武蔵野台地の末端部に位置しています。多摩川と関連する湧き水の仕組みなど、両市の自然環境の共通性などについての講演が大変喜ばれました。



★ 湧き水の会 2017年研修会「北八ヶ岳 苔の原生林と白駒池、白樺の小道」

小雨の中、27名の方々が参加した湧き水の会のバス研修会が、10月17日に行われました。予報では午後は雨が上がるとのことでしたが、「北八ヶ岳」は、雨が多い高地でコケが有名な地域です。やはり秋雨で霧が立ち込め、白駒池は全容が見られず残念。でも約480種類の苔類が生育するコケの原生林が大変素晴らしい所で、「もののけの森」と名付けられた森もあり荘厳な景色でした。白樺の小道にも立ち寄り全員集合し、楽しみました。

